

モノづくり

MONODZUKURI

水

働き方

木

製造

金

販売 サービス

「オークマのIoTシステムの導入により、設備の平均稼働率は導入前の2・3倍になった。生産性が高まったことでコストも下がり、新規受注の獲得につながった。例えば

航空機事業を取り巻く環境が厳しい中で、業績が好転しています。

「オークマのIoTシステムの導入により、設備の平均稼働率は導入前の2・3倍になった。生産性が高まったことでコストも下がり、新規受注の獲得につながった。例えば

「仕事の平準化をどう進めましたか。」「一部の部署が忙し、協力会社を増やしたり、協会の思い入れもあるが、周りを見渡せば

た

他部署は余裕があることもある。IoTで空いている機械を探したり、2年間使用実

「目標の明確化と仕事に対する意識が大いにある人材の確保と育成が不可欠だ」

熱田起業（名古屋市中川区、矢野照明社長、052・355・8038）は、三菱重工工業の協力会社として60年以上にわたり、航空宇宙機器部品製造を手がけてきた。アルミニウムや鋼のほかチタン、インコネルなど難削材の切削加工に強みを持つ。約2年前のIoT（モノのインターネット）導入を機に業績が急回復。昨年、41歳の若さで「あいちの名工」に選ばれた西川篤志工場長に、現場力を高めるデータ活用術と人材育成について聞いた。（名古屋・田中弥生）



熱田起業工場長 西川 篤志氏

挑む

モノづくり ヒトづくり



IoT導入で生産性が高まり新規受注につながった（名古屋市中川区の本社工場）

「工場の5S（整理整頓、清掃、清潔、しつけ）も浸透しました。」

「工場の5S（整理整頓、清掃、清潔、しつけ）も浸透しました。」

「工場の5S（整理整頓、清掃、清潔、しつけ）も浸透しました。」

5S浸透、仕事の機動力高まる

若いリーダー、新風吹き込む

航空機の機体部品の專業だったが、IoTによる短納期化で余裕ができた時間やスペースを活用し、新規受注を取り込んだ。19年10月期の売上高は前期比2倍、航空機関連の比率は7割を切ろうとしている。今後は日本の航空機産業で最も競争力があるとされる航空機エンジンへの参入も狙う。基本技能と、IoTを活用した最新技術を融合した次世代型技能を持つ西川工場長ら若いリーダーが新風を吹き込み、変革の時を迎えている。

ポイント

保管してもらう。不要な工具が一気に減ったことで探す手間が省け、機動力が高まった。

「あいちの名工」に選ばれた。技能伝承やリーダー育成についての考え方は。

「目標の明確化と仕事に対する意識が大いにある人材の確保と育成が不可欠だ」

「工場の5S（整理整頓、清掃、清潔、しつけ）も浸透しました。」

IoTで効率化、新規受注獲得